

interview

日本歯科プロアシスタント協会を設立

「副院長を担える一流の歯科助手をもつと育てていきたい」と語るのは、今年3月1日に設立した「一般社団法人日本歯科プロアシスタント協会」代表理事の澤泉仲美子氏。自身が社長を務める、スタッフ教育事業等を行うオフィスウエーブ（本社、東京都文京区）が運営していた日本歯科プロアシスタントスクール(PAS)を引き継ぎ、法人化することでさらに教育機関としての認知度を高めていく。協会としての試みや今後の目標、歯科助手の役割や価値、やりがいなどについて澤泉氏に話を聞いた。

——一般社団法人として協会を設立したきっかけは。

澤泉 2013年から始めたPASは今年で4年目を迎え、すでに卒業生の中には副院長となって活躍する人がいるなど優秀な人材が育ってきています。そこで、さらに歯科助手の社会的地位を上げるためにも、受講する生徒たちに十分な認定資格を提供してあげたいと思い、PASの運営を株式会社から一般社団法人に移管することを決め、協会を立ち上げました。

——副院長を担える一流の歯科助手をもつと育てていきたいと語るのは、今年3月1日に設立した「一般社団法人日本歯科プロアシスタント協会」代表理事の澤泉仲美子氏。自身が社長を務める、スタッフ教育事業等を行うオフィスウエーブ（本社、東京都文京区）が運営していた日本歯科プロアシスタントスクール(PAS)を引き継ぎ、法人化することでさらに教育機関としての認知度を高めていく。協会としての試みや今後の目標、歯科助手の役割や価値、やりがいなどについて澤泉氏に話を聞いた。

——副院長を担える一流の歯科助手をもつと育てていきたいと語るのは、今年3月1日に設立した「一般社団法人日本歯科プロアシスタント協会」代表理事の澤泉仲美子氏。自身が社長を務める、スタッフ教育事業等を行うオフィスウエーブ（本社、東京都文京区）が運営していた日本歯科プロアシスタントスクール(PAS)を引き継ぎ、法人化することでさらに教育機関としての認知度を高めていく。協会としての試みや今後の目標、歯科助手の役割や価値、やりがいなどについて澤泉氏に話を聞いた。

——副院長を担える一流の歯科助手をもつと育てていきたいと語るのは、今年3月1日に設立した「一般社団法人日本歯科プロアシスタント協会」代表理事の澤泉仲美子氏。自身が社長を務める、スタッフ教育事業等を行うオフィスウエーブ（本社、東京都文京区）が運営していた日本歯科プロアシスタントスクール(PAS)を引き継ぎ、法人化することでさらに教育機関としての認知度を高めていく。協会としての試みや今後の目標、歯科助手の役割や価値、やりがいなどについて澤泉氏に話を聞いた。

——副院長を担える一流の歯科助手をもつと育てていきたいと語るのは、今年3月1日に設立した「一般社団法人日本歯科プロアシスタント協会」代表理事の澤泉仲美子氏。自身が社長を務める、スタッフ教育事業等を行うオフィスウエーブ（本社、東京都文京区）が運営していた日本歯科プロアシスタントスクール(PAS)を引き継ぎ、法人化することでさらに教育機関としての認知度を高めていく。協会としての試みや今後の目標、歯科助手の役割や価値、やりがいなどについて澤泉氏に話を聞いた。

副院長となって活躍する 歯科助手を育てたい

澤泉 仲美子 氏



■略歴 オフィスウエーブ代表取締役。パーソナルコーチ・NLPマスター。共立女子大学で学び、学校法人三幸学園で教員として勤務し、歯科医療事務・歯科秘書を担当。1500人の卒業生を歯科業界に送り出す。日本歯科助手協会会長に就任。1997年にオフィスウエーブを設立。歯科助手の教育活動を精力的に行っている。

一般社団法人日本歯科プロアシスタント協会(PAS)第4期生の開校日は10月27日から。今年で11期目となるデンタルアシスタントスタディグループ(DASG)もオフィスウエーブから同協会に移管される。

北海道・東京・大阪・岡山・福岡などで展開する予定。6月26日には「デンタルコーチングフェスタin 沖繩2016」を沖繩歯科衛生専門学校ホールで開く予定。問い合わせはTEL 03(5615)8421まで。

■一般社団法人日本歯科プロアシスタント協会(敬称略) ▽代表理事 澤泉仲美子▽理事 寄田幸司、上間京子、田沼敦子、渡辺豊、藤波安真、吉野敏明、山下圭造▽顧問 松尾通

——入学資格は設けているのでしょうか。

澤泉 ええ。歯科助手歴2年以上ある本音や本質を受け止め、寄り添える強い精神力と柔軟な対応力が必要不可欠なのです。

——副院長として、協会をさらに発展させるために、教育機関としての認知度をより一層高めていきたいと考えています。また、高校や大学を卒業したばかりの学生さんや、産休・育児を経て復職を希望する方々を対象にした歯科助手教育も行っていきたいと思っています。さらに、歯科助手は歯科医院の中で一番のコミュニケーションです。患者さんのさまざまなクレームや要望の声を収集することで、歯科助手ならではの発想で商品開発できるのではないかと考えていますので、実現できるように新たな挑戦を行っていきたいと考えています。

——副院長として、協会をさらに発展させるために、教育機関としての認知度をより一層高めていきたいと考えています。また、高校や大学を卒業したばかりの学生さんや、産休・育児を経て復職を希望する方々を対象にした歯科助手教育も行っていきたいと思っています。さらに、歯科助手は歯科医院の中で一番のコミュニケーションです。患者さんのさまざまなクレームや要望の声を収集することで、歯科助手ならではの発想で商品開発できるのではないかと考えていますので、実現できるように新たな挑戦を行っていきたいと考えています。

——副院長として、協会をさらに発展させるために、教育機関としての認知度をより一層高めていきたいと考えています。また、高校や大学を卒業したばかりの学生さんや、産休・育児を経て復職を希望する方々を対象にした歯科助手教育も行っていきたいと思っています。さらに、歯科助手は歯科医院の中で一番のコミュニケーションです。患者さんのさまざまなクレームや要望の声を収集することで、歯科助手ならではの発想で商品開発できるのではないかと考えていますので、実現できるように新たな挑戦を行っていきたいと考えています。

——副院長として、協会をさらに発展させるために、教育機関としての認知度をより一層高めていきたいと考えています。また、高校や大学を卒業したばかりの学生さんや、産休・育児を経て復職を希望する方々を対象にした歯科助手教育も行っていきたいと思っています。さらに、歯科助手は歯科医院の中で一番のコミュニケーションです。患者さんのさまざまなクレームや要望の声を収集することで、歯科助手ならではの発想で商品開発できるのではないかと考えていますので、実現できるように新たな挑戦を行っていきたいと考えています。

——副院長として、協会をさらに発展させるために、教育機関としての認知度をより一層高めていきたいと考えています。また、高校や大学を卒業したばかりの学生さんや、産休・育児を経て復職を希望する方々を対象にした歯科助手教育も行っていきたいと思っています。さらに、歯科助手は歯科医院の中で一番のコミュニケーションです。患者さんのさまざまなクレームや要望の声を収集することで、歯科助手ならではの発想で商品開発できるのではないかと考えていますので、実現できるように新たな挑戦を行っていきたいと考えています。